

道路事業

一般国道400号 なかしおばら 中塩原バイパス

(平成23年9月完成)

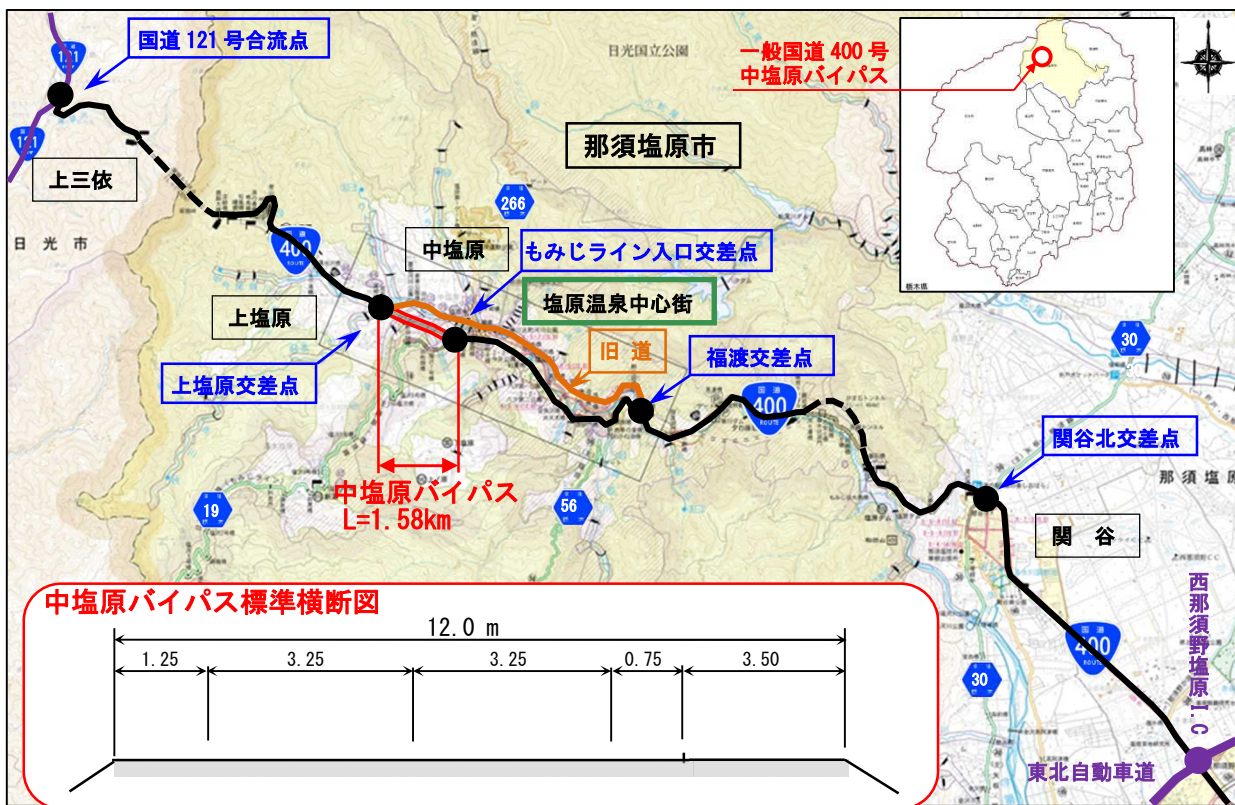
1 事業概要

一般国道400号は、茨城県水戸市を起点に本県北部を横断し、福島県西会津町に至る延長約230kmの幹線道路である。とくに、本県の北部地域における東西交通の軸として、東北自動車縦貫道路の西那須野塩原ICに接続するなど重要な役割を担っている。

また、本地域は塩原温泉街を中心とした、県内でも有名な観光地である。しかしながら、当該区間は道路幅員の狭小区間や屈曲部が多く、交通の隘路となっており、特に観光シーズンには慢性的な交通渋滞が発生し、また、歩道整備が十分でないことから、温泉客等の歩行者が危険な状況にあった。

このため、栃木県では、旧道からバイパスへの通過交通を転換させることによる安全で円滑な交通の確保を目的に平成11年度からバイパス整備に着手し、平成23年9月に供用を開始した。

位置図



- ◆ 事業名：国庫補助道路改築事業
- ◆ 事業主体：栃木県
- ◆ 事業箇所：一般国道400号 中塩原バイパス
(那須塩原市中塩原～那須塩原市上塩原)
- ◆ 全体延長：約1,580m
- ◆ 主要構造物：田代橋(塩沢) L=75.0m
- ◆ 幅員：W=12.0m (車道6.5m、歩道3.5m片側)
- ◆ 総事業費：約23億円
- ◆ 事業期間：平成11年度～平成23年度

2 事業の目的・必要性

- ① 安全で円滑な交通の確保
- ② 地域間ネットワークの向上

3 事業の整備効果等

〈費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化〉

- 事業費：着手前 約 22 億円 → 完成時 約 23 億円
事業費増加の理由：補償物件の算定により精査したため
- 事業期間：着手前 平成 11 年度～平成 21 年度 → 完成時 平成 11 年度～平成 23 年度
事業期間延伸の理由：用地取得の難航により不測の期間を要したため

〈安全で円滑な交通の確保〉

- ・本事業におけるバイパス整備によって、時間短縮が図られ、上三依～関谷地区間の移動時間が約 3 分短縮され、円滑な交通が確保された。
- ・大型車の約 9 割がバイパス側を通行しており、通過交通の転換が確認できたことから、塩原温泉街の観光者及び歩行者等の安全が確保された。

【通過時間】国道 121 号合流点～関谷北交差点の比較

整備前		→	整備後 (H27.5)	
現道	約 30 分		バイパス	約 27 分

【大型車交通量】

整備前		→	整備後 (H27.5)	
現道	大型車		バイパス	大型車
	380台/12h	356台/12h		
		→	旧道	42台/12h
			総交通量	398台/12h

〈地域間ネットワークの向上〉

- ・塩原温泉街に来る自動車の総交通量が増加していることから、地域間のネットワークの向上し、地域の活性化にも期待される。

【自動車交通量】

整備前		→	整備後 (H27.5)	
現道	交通量		総交通量	交通量
	2,595台/12h	2,837台/12h		

整備前の塩原温泉街の渋滞状況



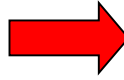
整備後旧道温泉街



整備前の塩原温泉街の大型車の状況



整備後バイパス



4 事業による環境変化 : 特になし

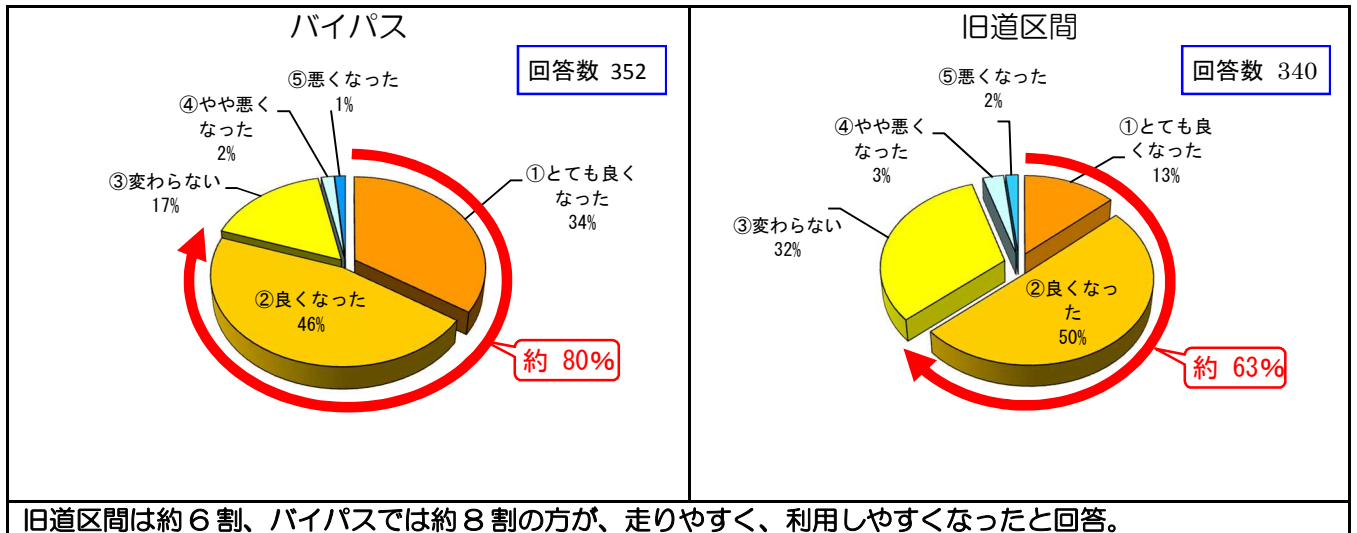
5 事業を巡る社会情勢の変化 : 特になし

6 地元の声(アンケート結果)

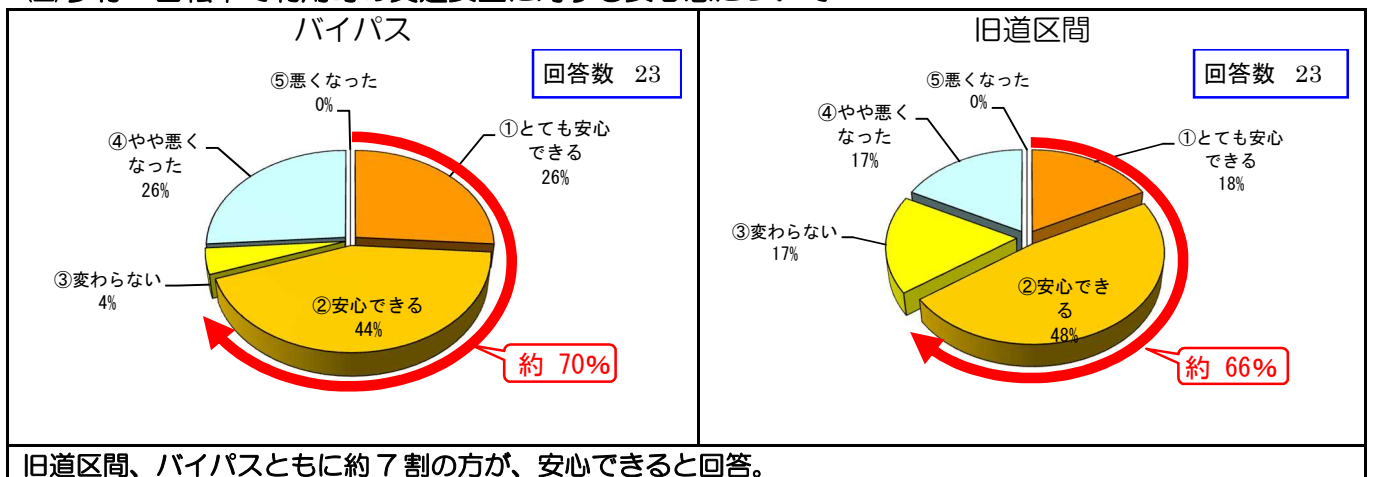
中塩原バイパスが整備されて、道路利用や生活等にどのような変化があったかを確認するため、地元住民や地元企業及び観光客からアンケート調査を実施しました。

(回答数/配布数: 365/518件 回答率 70% 有効回答数は設問により異なります。)

(1) 車での走りやすさ・利用しやすさについて

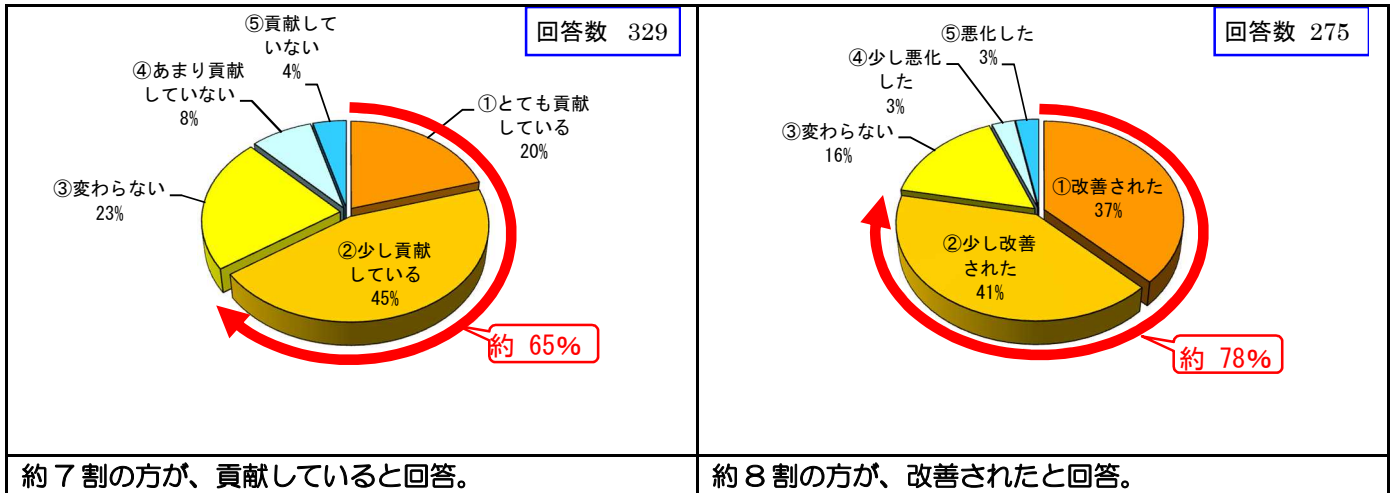


(2) 歩行・自転車で利用時の交通安全に対する安心感について



(3) 観光支援への貢献について

(4) 旧道区間の渋滞・騒音・振動等の変化について



(5) 自由意見（意見の多かった内容等）

- ◆ バイパスは車道も広く、歩道も設置されており安心して走行できます。
- ◆ 火災などの緊急出動時に活動拠点や、現場への所要時間が短くなり、行きやすくなった。
- ◆ 道路が広くなった分、スピードを出す車が増加した。

7 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

中塩原バイパスの整備は、交通量の推移等に加え、アンケート結果により、事業の目的である①安全で円滑な交通の確保②地域間ネットワークの向上に加え、生活環境の改善にも大きく寄与していることが確認されたので、再度事後評価を行う必要性はないものと考えている。

なお、本路線については、今後も継続して、適切な維持管理に努めていく。

また、アンケート調査の結果「道路が広くなった分、スピードを出す車が増加した。」との意見があった。これについては、バイパスの利用状況を見ながら、更なる改善の必要性が生じた場合には、地域住民や交通管理者等の関係機関と協議し対応していく。

8 同種事業への反映

今後、同種事業の際には、アンケートの結果を参考に観光地に配慮した計画策定に努めるとともに、事業を効率的に進めて事業期間が短くなるように引続き努めていく。

栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2412 FAX : 028-623-2417

H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

